

STEP BY STEP

いつもこの会報「Step By Step」の冒頭に何を書こうかと、あまり悩むことはなく、その都度、最も心を惹かれたことについて書いています。しかし、今回は悩みました。

2月11日のニュースによると、旧天竜林業高校成績改ざん事件で最高裁の証拠開示勧告を受けて、弁護側が最高検から連絡を受けて出向くと地検浜松支部の支部長が深々と頭を下げて「当時の担当検事による証拠の精査が不十分だった」と説明したということです。しかし、一部は黒塗りの状態で、供述を誘導したような形跡もあり、また、手書きメモが欠落していると思われる期間もあるとのこと。更に開示を求めていくことになるようです。

2月18日、乳癌外科医事件で最高裁は懲役2年を命じた2審・東京高裁判決を破棄し、同高裁に差し戻す判決を言い渡しました。最高裁が判断を避けたともとれる差し戻しで、無罪判決を期待した多くの方たちは肩透かしを食った格好です。

3月1日、東京高裁は、三鷹事件再審弁護団が提出していた異議申立に対し、棄却決定を行いました。

3月3日、名古屋高裁が、名張毒ぶどう酒事件で第10次再審請求を棄却する決定を出した。無実を訴え続けて獄死した奥西勝さん（享年89）に代わって、妹の岡美代子さん（92）が裁判を引き継いでいます。

何について書こうか、迷っていたら今度は戦争が始まってしまいました。冤罪も戦争も国家が行う最悪の人権侵害です。どちらも許し難い蛮行です。連日ウクライナ情勢を追いかけていると涙が止まらなくなり、精神状態もおかしくなります。ただでさえ長引くコロナ禍にあって気分が塞ぎがちなのに、うつ状態になる方も多いようです。お互いに気をつけましょう。そんな憂鬱なニュースの中に興味深いものを見つけました。ロシアは既に情報戦に敗れているという話です。ウクライナは人口約4000万人。その半数近い成人がスマホを使って、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどSNSに映像をアップするので、最新情報が瞬時にわかるという時代になっているわけです。言わば国民総特派員状態なんだそうです。これはプーチンが理解していなかったことなんだそうです。ロシア国内からも戦争反対の投稿があります。それを世界中の人がシェアして拡散します。それを私たちが見ます。

冤罪も、関心を持ってくれる仲間をどんどん増やして、どんどん投稿。皆でシェアして拡散し、声を大きくしていく。声が大きくなれば、国も裁判所も無視できなくなります。皆さん、頑張りましょう！（なつし聰）



カラーでお見せできないのが残念。ウクライナ国旗のイメージは、どこまでも広がる青空と黄金色の大地なのだそうです。

えん罪「豊川児童殺人事件」をご存知ですか？

2002年7月28日（日）、午前5時30分過ぎ、愛知県豊川市の埋立て工場用地の岸壁で1歳10ヶ月の男児の溺死体が引き上げられた。ここから北東に直線距離で約4km離れたゲームセンターに、事件の前夜9時頃、父親がこの子を連れて遊びに来ていた。夜中の12時過ぎ、眠くなつた子どもを駐車場の車内に寝かせたが、午前1時過ぎ、車に様子を見に戻った時にはこの子の姿は消えていた。この時期は比較的近い場所で毎年恒例の大規模な花火大会なども開催されており、真夏の夜のゲームセンター駐車場は、若い男女に限らず多くの人たちの出入りがあった。

事件から約9ヶ月後、事件当夜に同じ駐車場にいたトラック運転手の田邊雅樹氏（当時35歳）が逮捕され自白調書が作られた。起訴された彼は、証拠不十分で一審無罪であったが、控訴審で逆転有罪、懲役17年が確定し大分刑務所に収監されている。しかしこの事件には物的証拠がなく、犯行の目撃者もおらず、警察での自白だけが有罪の根拠となった。田邊氏は無罪を訴え続けている。2011年に「守る会」が作られ支援をしているが、今夏、田邊氏は出獄する。

しかし、まだ彼の再審請求は認められておらず、無罪にはなっていない。真面目な彼はすぐにでも働くと考え、支援者に相談している。だが、50歳半ばになった刑務所帰りの男が、十数

年も隔絶されていたこの社会で、いきなりそう簡単に安定したやり直し生活ができるわけではない。彼にはそのことがピンときていよいよだ。逮捕後離婚した彼の家庭はなくなり、一人だけの弟とも疎遠になり、故郷の親も小さな田舎町に無罪判決を得ていない彼が戻ってくることには心配がある。彼に繋がった人たちは皆、冤罪被害者である。

3月3日、名張毒ぶどう酒事件の第十次再審(異議審)の決定が出るというので、期待を胸に名古屋高裁に出かけた。豊川事件と同じ裁判長なのだ。裁判所は私たちの期待をもの見事に裏切り、「奥西勝さんには死刑が妥当」との判断を示した。科学的事実を理解せず、屁理屈で真実から目を背ける。その上、正邪の感覚すら持たない裁判官はバカ? それとも悪意の塊? それでも決定権を持っているのは裁判官。豊川事件の弁護団も科学的事実に基づいて田邊氏の無罪を証明しようとしている。弁護団も「守る会」も必死だ。こんな裁判官になんとしても勝たねばならないから。(「田邊さんを守る会」事務局長:渡辺達郎)

小石川事件の伊原康介さんからの便り

私は2002年に東京・文京区で起きた強盗殺人事件で犯人として逮捕され、自由を奪われて今年で20年になります。当時の私は22歳で定職にも就かず、借金をするなど自堕落な生活を送っていたため、警察も初めから私を犯人と決めつけ、暴言や暴行、脅迫、偽計などあらゆる手段で自白を迫ってきました。犯行を決めつけて追認を強要するだけの名ばかりの取り調べが延々と続き、あまりに苦しみに、誘導されるがままに自白してしまい、裁判で無実を訴えましたが、それも叶わず、無期懲役の有罪判決が確定しました。

その後、しばらくは警察を憎みました。裁判所を憎みました。孤独と不信、絶望に打ちひしがれ、目の前が真っ暗でした。しかし本件で有罪とされて絶望的な状況の中、初めて本気で過去の自分と向き合い、見つめ直すことができました。家族や周りの想いをないがしろにし、裏切り、失望させてきた過去。疑われるには十分すぎるほどに堕落した日々を送っていた過去。その結果として、殺人の疑いをかけられ、家族に多くを失わせ、今なお苦しく辛い日々を送らせているのだと気づきました。誰のせいでもなく、私自身が招いたことなのだと、自分の過ちに気づくことができました。

このような境遇に置かれたことで、人として大切なものが気づいたのだから、けして無駄ではなかったのだと思っています。辛いこと、苦しいこともあります。しかし、今のこの苦しみは過去を内省して自分を変えるために、私に必要な時間なのだと、前向きに考えて生活しています。もし、この経験がなかったら、私はいつまでも人の心の傷みの分からぬ弱い人間であったかもしれません。私に変わるきっかけを与えてくれた、裁判所にはある意味、感謝さえしています。

とはいっても、冤罪が許されて良いはずがありません。現在は再審請求即時抗告審を闘っていますが、相変わらず裁判所は証拠開示や事実調べに消極的です。検察は有罪にするための証拠しか出さないのだから、すべての証拠が開示されなければ、公正、公平な判断など望めず、真実を明らかにすることはできません。裁判所には事実と真摯に向き合い、審理を尽くしてほしいと思っています。

私は犯人ではありません。私は人を殺めてなどいません。私の願いは一つ、無罪を勝ちとり、一日も早く苦しんでいる家族を助けたい。その願いが実現できるよう、どうか皆様のご支援を宜しくお願い致します。(小石川事件/伊原康介)

■クラウドファンディングのお知らせ

19年間、無実を訴え続ける無期懲役囚に真相解明のチャンスを下さい!

無実を叫んでいるのは、かつて「大地義行」の名前で映画にも出演していた俳優、平野義幸さん。

平野さんは放火殺人の疑いで無期懲役となっています。死亡した女性は当時平野さんと内縁関係にあった旅館の仲居手伝いのAさんでした。しかし平野さんと一緒に消防活動のために燃え盛る炎の中に入った配達員(当時25歳)は「平野さんは2階に『おかん』がおると言って半狂乱の状態





だった。周囲の制止を振り切って消化器を持って家の中に入つて行つた。家の中では『あかん、熱い』と言ひながら消火活動をしてゐた」と証言しています。

彼は放火殺人をしたのではなく、愛する女性を助けようとしていたのです。高温の中にある程度の時間いなければ負うことのない、火傷や気道熱傷を負い、治療を受けてもいます。

応援してください！（実行者/青木恵子）

https://readyfor.jp/projects/save_yoshiyuki_hirano

日本で唯一の冤罪について語り合うラジオ番組の継続を！



日本で唯一の冤罪ラジオ番組「塀の中の白い花～ほんとに何もやってません」は、お陰様で5年めを迎えました。痴漢冤罪から殺人事件まで、冤罪が誰の身にも起こりうる身近な問題であることを分かりやすくお伝えし、一緒に考えていたくだことを目指している番組です。

また、残念ながら、冤罪には全国的に知名度のある事件とそうでない事件があるようです。有名ではない事件にスポットを当てるこども、この番組の使命だと思っています。

番組はここまで、あと1年、もう1年と思いつながら続けてきましたが、冤罪は無くなるどころか、ますます増えています。この際、再審法改正を見届けるまで続けたいと考えるようになりました。番組延長のための資金集めにご協力ください。

（実行者：なつし聰）<https://readyfor.jp/projects/notguilty>



■イベント情報

●3.29『検察官の再審妨害を許さない』全国集会

袴田事件は、2014年3月27日の静岡地裁の画期的な再審開始決定と刑の執行停止から8年が経とうとしています。しかし、いまだ再審は開始されていません。ご存じのとおり、2020年12月の最高裁で差し戻し決定からも1年3か月が経過します。袴田事件の差し戻し審の現状を多くの方に知っていただき、検察の再審妨害を許さないために3月29日に院内集会が開催されます。

プログラム（予定）

- ・袴田弁護団の報告
- ・村木厚子さんと鴨志田祐美弁護士の対談
- ・袴田ひで子さん挨拶

場所：衆議院第一議員会館員会館

開場：14時半 15-17時 YouTubeでのオンライン参加可能→ <http://kyuenkai.org/32>

●『オレの記念日』完成上映会

①2022年4月2日（土）東京・日比谷コンベンションホール
千代田区日比谷公園1-4 TEL:03-3502-3340（代表）

開場：12:30～ 上映開始：13:00

②2022年5月28日（土）大阪・東成区民センター

料金：事前予約/¥1300 当日/¥1500

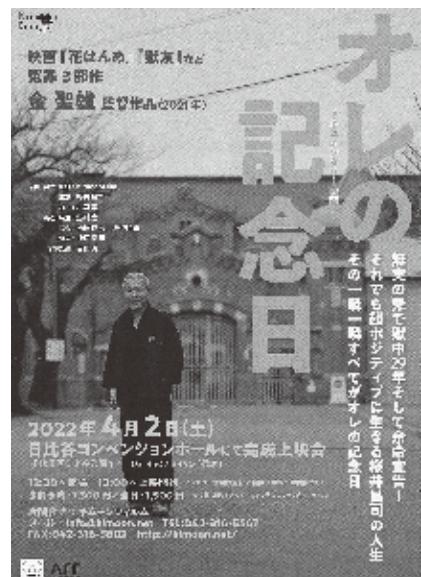
*上映終了後に金聖雄監督と桜井昌司さん舞台挨拶あり！

*席数に限りがありますのでお早めにお申し込みください。

お問合せ：Kimoons Film info@kimoons.net TEL. 042-316-5567

●4月28日（木）湖東記念病院事件

第2回口頭弁論 大津地裁 11時1号法廷



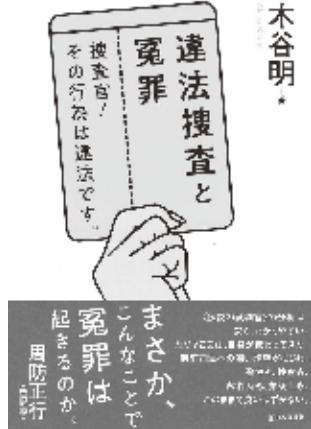
■今月のオススメ

「違法捜査と冤罪---捜査官！その行為は違法です。」

木谷明(著)

元裁判官の木谷明弁護士による渾身の一冊。警察官、検察官の証拠隠しや捏造、嘘、それらの違法捜査を見抜かなかつたことによる誤った裁判の実相を、明らかにする。

1980円/日本評論社



■ちょっと一言

嘘の自白という言葉をよく耳にしますが、「自白」という単語はスラスラと犯行を自供したような、そんな誤解を与える言葉だと思います。自白を強要された方たちが口を揃えて言うのは「一言引き出して、一言引き出して」そして警察が用意したストーリーに落とし込まれるということ。まるで「ちぎり絵」のようです。「嘘の自白」に代わる言葉をずっと探しているのですが、「ちぎり絵」は使えそうです。

＝＝冤罪犠牲者の会は当会の主旨に賛同していただける仲間を集めています！＝＝

「冤罪犠牲者の会」が結成されたのが2019年3月2日。お陰様で少しずつ会員が増え、現在、170名を超えるました。冤罪に巻き込まれてしまい、闘っている人、再審を目指している人、無罪を勝ち取った人が約50名、獄中で無実を叫んでいる人が約10名、近親者・支援者が約110名で構成されています。冤罪撲滅に力を貸してください方を募集中です。冤罪に関心をお持ちの方がお近くにいらっしゃったら是非、声をかけてあげてください。

年会費:個人会員(正会員) 2000円 賛助会員1口1000円

「冤罪犠牲者の会」の口座

◎現金払込・ゆうちょ間送金の場合

記号番号 00150-7-515181

口座名称 殺人未遂事件

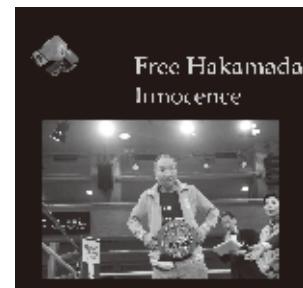
◎他行からの送金の場合

金融機関 ゆうちょ銀行(金融機関コード 9900)

支 店 ○一八店(ゼロイチハチ店)店番 018

預金種目 普通 口座番号 9884160

口座名義 エンザイギセイシヤノカイ



■CD「Free Hakamada」発売中！

Amazonや全国のCDショップでご注文できます。売上は冤罪撲滅を目指す支援団体に寄付します。

◎PayPalでの振り込みは当会ホームページの「当会について」から「入会のお申込み」ページにある会費支払方法をご参照ください。

◎冤罪犠牲者の会事務局は常駐スタッフがおりません。複数の冤罪関連団体が桜井司法研究所を共有しています。お急ぎの場合は080-5182-3911(冤罪犠牲者事務局長:なつし聰)へお電話ください。個人の電話番号ですので、この点はご了承ください。

発行:冤罪犠牲者の会

〒160-0023東京都新宿区西新宿7-5-13 第3工新ビル201号室(桜井司法研究所内)

<https://enzai.org/> e-mail : info@enzai.org

発行責任者 なつし聰